

人権だより

2020. 2
北宇和高人権委員会

○1月23日（木）に3年生の人権・同和教育ホームルーム活動がありました。

『だれもが幸せな社会を実現させよう。「差別をなくす生き方」—みんなが幸せになるために—』
のテーマのもとで、3年間の総まとめになる活動が実施されました。

この一年頑張ってくれた人権委員さんのコメントと共に紹介します。

3-1



最後の人権委員の仕事でした。しっかりとやりきることができたと思います。人権委員として、この3年間で学んだことをこれからも生かしていきたいと思っています。

3-2



3年間のHR活動を振り返ると、クラスの融和、人権・同和教育問題、将来の計画など、自分自身が何をしたいのか、何をしなければならないのか、を考えていく大切さを学びました。

3-3



人権について、本当に多くのことを知ることができて良かったです。社会に出ても、学んだことを生かして、様々なことに取り組んでいきたいと思っています。



☆高等学校の3年間で学んだことが、周りの人々を助け、君達も助け、さらにそれが社会の力になり多くの人を助けられるようになることを期待します。これからもたくさんの方が起こると思いますが、学んだことが、これからの君達を支える力になりますように☆



○2月6日(木)は1・2年生の、今年度最後の人権・同和教育ホームルーム活動がありました。
 1年生は「人権を獲得してきたあゆみに学ぼう～部落差別の起こり①～」のテーマ、
 2年生は「人権を獲得してきたあゆみに学ぼう～平等な社会を目指して～」のテーマ
 で活動を行いました。人権委員さんを始めとして、みんなの感想の一部を紹介します。

<p>1-1</p>  <p>「人権」についてたくさん学んできました。差別はいけないことだとわかってはいますが、なくなるのが現状です。人権の大切さがわかる現代だからこそ、考えるべきだと思いました。</p>	<p>1-2</p>  <p>HR活動をすることで、クラスの間など交流ができ、協力して解決したり、相談し合ったりして人権についてたくさん学べてよかったです。友達との仲を深めることができたのでとても良い活動ができたと思います。</p>	<p>1-3</p>  <p>僕の思ったことは、人の言葉を鵜呑みにしてはいけないこと、それが間違った情報だったら取り返しのつかないことになります。相手の言葉を、自分で見て聞いて確認をすることが大切だと思います。いろいろなことが学べてよかったです。</p>
<p>2-1</p>  <p>授業を通して理解が向上したと思います。常に相手に対して「ありがとう」という感謝の気持ちを持つこと、一人一人の個性をお互いに認め合うことが大切で、心がけていかなければならないことだと思いました。</p>	<p>2-2</p>  <p>識字について学習しました。勉強ができたこと、字の読み書きができることは、当たり前なことではなく、幸せなことなんだと認識しました。言葉を大切にしていけることを心がけたいと思います。</p>	<p>2-3</p>  <p>第二次世界大戦以降、日本の法の改善や取組によって、差別を受けていた人が当たり前の幸せを取り戻していることがわかりました。これからもみんなと差別をなくすために取り組んでいきたいです。</p>

◎新型コロナウイルスに関連する 人権問題への配慮についてお願い



ニュースやネットでの情報が広がるに従い、中華人民共和国や武漢市という地域、ここにかかわりのある人々へのいわれなき差別発言等が懸念されます。御家庭等におかれましては、子供たちとの語らいの中で、正しい人権意識と人権感覚が培われますように御配慮願います。

いつの時代にも、どこの国にも、差別的な考えをする人々は少なからず存在します。そのような人々が発する心無き言動に流されてはいけないと思います。このような本当に大変なときこそ、皆が助け合い、この困難を乗り越えていくべきではないのか、そう思います。